

スマイリング Smiling

思いをカタチに ともに創る 笑顔の学校

第1回 三川町学校運営協議会が開催されました

学校運営 今年度の重点

「三川ふるさと
学習」の充実

体力向上策の
推進

生活リズムの
確立



地域の拠点として、地域とともに歩み、数多くの人材を輩出してきた「地域の学校」。今年度、横山小学校と押切小学校が創立150周年を迎えます。それぞれの学校で、記念式典・記念事業が進んでいます。

今年の熟議テーマ

「地域（ふるさと）に思いを寄せる子どもの育成」

学校において「三川ふるさと学習」を実施し、三川に思いを寄せる子どもの育成に取り組んでいます。学校運営協議会では、地域とのつながりに焦点をあてながら、多様な考えが進む現代社会の中で、地域・学校・家庭のほどよいつながり、ゆるやかなつながりのカタチを話題にし、子どもと地域（ふるさと）にかかわっての情報発信ができればと考えています。

校長先生から学校運営の方針が提示され、質問・意見後に承認されました。

横山っ子ネットワーク協議会

- ①「対話する力」を全職員でつきたい力に設定し、あらゆる教育活動を「対話する力」の育成の観点で見つめなおす。
- ②探究のプロセスに従い授業をつくっていく。山形県の弱いとされる整理分析やまとめ・表現に努め、YouTube「よこちゃんねる」の活用を推進する。また、「個別最適な学び」と「協同的な学び」に配慮し、子どもたちによる「学び合い」を授業に位置づけ、子どもたちの議論で課題が解決される授業をめざす。
- ③学校行事から総合的な学習の時間への移行を進める。大人がお膳立てしない授業で、子どもたちの関心や課題に合わせた学習を計画していく。

おらほの学校づくり協議会

- ①東郷小の教育を支える基盤として、良好な人間関係づくりと温かい学校学級づくりに努める。特に、普通のことをしっかりできている時の声かけを大切にしていく。
- ②「主体的に」という言葉を「自分から」など、子どもたちにも分かりやすい言葉で伝え、より自分たちで考えられることができるようにしていく。
- ③子どもたちへのメッセージとして「頑張っていることは続けて頑張ろう。頑張りが足りないことは、これから頑張ろう。それが、今よりもっとすてきな東郷小にすること」と発信していく。

こうふく押切っ子協議会

- ①合い言葉を「150年の歴史とともに新たなスタート」として、地域に支えられながら多くの人材を輩出してきた学校の歴史と、今後につながる新しい教育の充実をめざしていきたい。
- ②日課表の改定を実施し、「よく遊び、よく学ぶ」ようにゆとりをもたせ、子どもたちの放課後の時間と教員の授業力向上のための時間を確保していく。
- ③個別最適な学びと協働的な学びの推進、低学年でのペア学習や高学年でのグループ学習を日常化、TT学習（複数の教員で指導）の推進でつまずきを見逃さない指導を行っていく。
- ④縦割り活動の実施と学級の絆づくり。子どもの思いを大切にした活動や体験・宿泊学習で絆づくりをめざしていく。

三川中学校学校運営協議会

- ①重点として、「魅力ある学校づくり」の推進、生徒にとって学びのある授業創り、「寛容・共生・貢献」の心を育む教育活動の推進、高い同僚性をもとに学び合い、研鑽し合う教職員集団づくり、の4点をぶれないで行っていく。
- ②日課表を今年度より変更し実施している。目的は、生徒が帰宅後に余裕ある生活を送れること、生活リズムの一定化、一年を通した部活動時間の確保である。
- ③生徒会では『結笑』（けっしょう）～繋がりて 広げる笑顔を その先へ～」を掲げ、「なかよし3原則と三川中のSNSの決まり」などにも取り組み、自主的に活動を行っている。